

# ふくしま県人会だより

第 6 号  
平成 14 年 8 月 行 会  
編 集 発 人 会  
福 島 県 人 会  
北 海 道 連 合 会

ふくしま

会長 上田 小八重



ふくしま県人会だより第六号をおとどけいたします。

五月十八、十九日の北海道連合会総会は、帯広市で開催されました。ご多忙の中、出席の佐藤栄佐久知事は、とんぼ返りで沖繩本土復帰二十周年記念式典に、全国知事会副会長として会長代理で出席されました。

六月札幌開催の「YOSAKOIソラン祭り」には、浪江町「wonderなみえ」、天栄村「てんえいジュニア」のほか、混成チームに川俣町の皆さんが参加されました。歓迎・激励には、連合会事務局長・北海道事務所長が担当してくださいました。

十月十九日～二十一日の第十五回全国健康福祉祭ふくしま大会が、「うつく

しまねりんピック2002」と銘打って、県内十市十三町一村で開かれ、皆さんのおいでをお待ちしております。年ごとに充実、発展していく母県をみると、心の底からわきあがってくる力強さを感じます。それが支えになつて、ふるさと遠くに在る私たちを励ましてくれるのです。

滝上町生まれの作家小椋山博さん(現神田日勝記念館長)が、最近「光る大雪」を発刊されました。帯には開拓者だった父「光る大雪」はぼくの父母の一生であると同時に、小椋一族の履歴であると同時に、会津出身の父をもつ小椋山さんは、JR北海道車内誌「ホッカイドウに、エッセイ「人生という旅」を連載(七月号で第四十回)しています。「光る大雪」の一読をおすすめいたします。

ふるさとを離れて幾星霜、いまでも変わらない母県への想いを新たに、県人会に集う私たちです。時代の波は大きく、ことに昨今の激変の世情には厳しいものがありますが、北の地で鍛えた開拓魂は、会津魂を土台に、励ましあ

い支えあつて、必ずや栄光の道を拓くことでありましょう。会員の皆さまのご健勝とご発展を切にお祈りいたしまして、筆をおきます。



## 美幌福島県人会

ふくしま県人会だより第六号に寄稿するにあたり、まず五月十七日～十八日実施された福島県人会北海道連合会の総会に多忙な日程の中で今年も出席くださった佐藤栄佐久知事、県幹部の方々、総会開催にあたり何かと御配慮をいただいた北海道事務所の皆さん、県人会の頃まで準備をして歓迎してくださった帯広県人会長さんを始め会員の皆様に、美幌福島県人会会員一同厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。

心のこもった歓迎に参加者一同二十名大満足、十八日の朝帰路には帯広で有名な六花亭に立ち寄り、お土産を山ほど買い、バスの中は唄あり、笑いありで、本当になごやかに親交を深めて昼すぎ無事帰りました。

それではせっかくの機会ですので、美幌福島県人会(会員数現在四十五名)の年間活動状況について紹介いたします。まず、年度計画の中で七月末までに終わった事業の状況です。二月十七

日定期総会及び懇親会二十五名出席、五月十七日～十八日道連総会二十二名参加、五月二十五日道連総会報告会を兼ね花見会二十八名出席、七月二十一日美幌町夏の一大イベント観光和牛まつり二十五名参加、道事務所から高田さん御一家も参加、美幌和牛の焼肉に舌鼓をうち、イベント出演で来町の我が郷土出身人気歌手門倉有希の歌で盛り上がりを見せ、県人会から花束を贈って激励すると共に美幌福島県人会をPRしました。

以上が現在までに実施した事業の状況ですが、八月以降の予定は、まず、九月四日から六日までの美幌ふるさと祭り(秋祭り)に今年で十年めの夜店焼き鳥、焼きそば、鯛焼き、かき氷、飲み物出店です。出店で得た利益は会の活動資金として役立てております。

この後は、出店反省会、十一月には道東地区県人会(別海、浜中、美幌の合同観楓会、別海町県人会の当番で川湯温泉で開催予定です。そして、今年度の最終行事は、十二月に忘年会を実施して締めくくりとしています。

これらの事業を行うにあたっては、その都度役員会を開き、連絡網で会員各位に連絡をして実行に移しております。

最後に、美幌県人会が会の活動を通じて得たことは、会員の「和」です。そして、「会員の集まる機会」の少ない会

は減少し、多い会は発展する」ということも！

(美幌福島県人会)

会計幹事 斉藤 庄次)

### ペーパン福島踊りについて

\*県人会員でもない私どもが、貴機関紙に投稿することは、誠に申し訳ないことではありますが、お許しを頂き本会の紹介をさせて頂きます。

明治三十一年、福島県伊達郡大田村 村長菊田熊之助氏(当時三十八)が、自村の度重なる災害や、人口増加に対処するため、近隣の町村(保原・上保原・堰本・伏見村など)にも呼びかけて新天地への移住を決議し、百二十八戸の希望者を募り石狩の国上川郡東旭川村上ペーパン(米原・瑞穂地区)に移住入植をされました。当初は予想をはるかに超える困難がありました。菊田団团长は、一人の脱落者も出さないよう東奔西走し、道路や線路工夫などの賃稼ぎで生計を凌がせたので、開拓は老人と女子、子供だけのため遅々として進みません。明治三十六年金道的な冷害の中で、笹に花が咲き実が入って思わぬ収穫を得て、どうにか生活と開拓に目途を立てることができるようになったと伝えられています。

棒切れを持つて茶碗や丸太を叩いて調子をとり、残った者は涙を流して、夜の明けけるのも忘れて踊り続けたと口伝されています。

先人たちが少なくなると共に都会に転出する人が増加し始めた昭和四十年に、後世に踊りを残すことが先人たちへの供養であり、この地に止まる者の大きな努めであるとペーパン福島踊りの保存会が設立されたのであります。

保存会は設立以来未だ半世紀にも満たないのですが、踊りは移住から一世紀を過ぎています。久しく故郷とも交流がない事もあって、ペーパン独自の踊りとなっています。故郷の盆踊りとはお囃子も踊りも違っていますので、日本で唯一つの踊りであると自負しているのです。

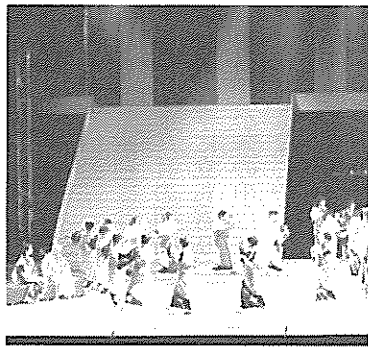
今年の秋には、ペーパン福島県人会主催の故郷訪問に同行し、保原町にある神明宮にこの踊りを奉納し、先祖の御霊に感謝と供養ができればと計画を進めています。当保存会は、福島踊りばかりでなく舞踊も取り入れて毎週練習に励む活動も行っています。地区の敬老会や新年会などの余興としても、皆さんに披露をさせて頂いたいただき大変好評を得ています。

こんな保存会ですが、北海道にも好きな組織があることを知って頂くとうと投稿をさせて頂きました。これからも宜しくご指導を賜りますようお願いいたします。

いたします。(連絡先 〇一六六(七六) 二二二九 事務局 馬場幸子)

(ペーパン福島踊り保存会)

会長 佐藤 敏美



## 会員通信

釣り好きが昂じて

函館福島県人会 穴澤 邦雄

私は昨年の第二十九回福島県人会北海道連合会総会函館大会のお世話を最後に、三十有余年間勤めました函館県人会の事務局を解任させて頂きました。長い間指導して頂いた福島県北海道事務所の皆様は勿論、道内各地区の県人会の方々、函館地区の会長、会員の皆様のお蔭で大過なく過ごして参りました事を深く感謝申し上げます。

考えてみますと、少年時代に小鮎釣りに夢中で、北海道なら何でも釣りで大漁できると夢みて、昭和二十三年に

渡道、北大水産学部を卒業後、釧路北見枝幸と蟹缶詰工場に勤務、昭和三十八年に函館に居を構える事になりました。爾来、海釣りに夢中になった時もありましたが、何といても溪流釣りに誘われてからは「釣りキチ」といわれる位、仕事の合間の釣りでなく、「釣りの合間に仕事をしなさい」とまていわれています。しかし、この釣りがあつたからこそ、北海道に渡ってきた皆さんとお付き合いできたのであり、これも一つの運命と思っております。

函館の県人会員の中でも、溪流釣りでは藁谷さん、半沢賢雄さん、鈴木和夫さん、鈴木清行さん、また、海釣りではいつもプレジャーボートに乗せてもらっている久保木さんや古山さんなど楽しい仲間がいっぱい、楽しさは百歳までも長生きで釣行と念願していても私も七十歳を越しましたが、釣りは健康の秘訣、事故だけは気をつけて思っております。皆さまの中で釣好きの方、ご二報をお待ちしております。

長野県の田中知事のダムの話が賑わしていますが、川にも海にもダムは良くないようで、魚が棲めなくなったら、昆布が影響を受けたりするダムの無軌道な建設には大反対です。

今後とも北海道連合会総会には、皆さんとお会いすることを楽しみに続けて出席したいと思っております。その節は宜しくお願いいたします。

### 県人会に入会して

別海町福島県人会 佐々木 和代

私は道東の別海町福島県人会の会員です。現在は菅野達真会長のもと、七十名程度の会員で、道連合会にも加入しておりますが、近頃若い人の加入がなく、会員が老齢化しています。若い人の加入をお誘いしておりますが、入会が少なく先細りの現在です。

私も若い頃県人会に入るのが嫌いでした。なぜなら、県人会は老人の集まる場所と思っていたからです。先々代の会長に勧められていましたが、入る気にはなりませんでした。

ある日、隣接の県人会に行く会長に車の運転を頼まれ、その県人会に行きました。会場では他の集まりとは全く違い、同郷の出身者が誰とでも懐かしい話が出来て、本当に楽しかったのです。帰ってからすぐ入会し、それからいろいろな行事に参加しております。

あれから十数年経ちましたが、益々皆さんとの親睦を深めながら地域の行事にも参加しております。入会してよかったですと思っています。

別海町県人会は、本部と支部があり、私のところは支部です。年間を通じての行事は合同で行っておりますが、支部主催の行事もあります。八月のふるさと祭と年末の忘年親睦会は、本部からも参加して、とても楽しく盛況です。パークゴルフ大会も年三回実施してお

ります。

何よりの楽しみは全道大会への参加です。会場で同郷出身者同士が上下なく話ができることは、県人会でなければできないことだと思えます。また、大変ご多忙の中をご来席くださる佐藤知事ご夫妻とお会いできるのが一番の楽しみです。三年に一度の母県訪問旅行もすばらしく、楽しみにしています。会員になって本当に良かったと思っております。

今回の全道大会は、別海町県人会と浜中町県人会が合同で担当させて頂く事になりました。川湯温泉の川湯観光ホテルが会場です。一生懸命やりますので、多くの会員の参加を待っております。

## 新会員紹介

札幌県人会

石田 富吉

会津若松市

坂場 武彦

会津若松市

帯広県人会

板橋 延俊

郡山市

函館県人会

池田 桂子

郡山市

菊地 慎太郎

伊達町

高野 真理子

本宮町

松本 彦四郎

美幌町県人会

小森 堂男

相馬市

山川 桂

いわき市

小湊 高雄

天栄村

美幌町県人会

矢吹 梅一

本宮町

苫小牧県人会

渡辺 健治

会津若松市

小森 堂男

相馬市

山川 桂

いわき市

小湊 高雄

天栄村

美幌町県人会

矢吹 梅一

本宮町

苫小牧県人会

渡辺 健治

会津若松市

小森 堂男

相馬市

山川 桂

いわき市

小湊 高雄

天栄村

美幌町県人会

矢吹 梅一

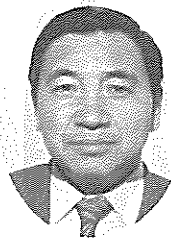
本宮町

苫小牧県人会

## OBの便り

福島県人会北海道連合会の皆さまへ

第十代所長 高橋 典彦



福島県人会北海道連合会会員の皆様  
毎日お元気にお過ごしのことと福島  
地から拝察いたします。この便りを書  
いている今、福島地方は、梅雨の真っ  
只中で、連日、雨がしとしと、時々雷  
がごろごろ、廊下の板の間、畳を素足  
で歩くと足の裏がべたべたと、ここ  
でしか味わえない季節を肌で感じていま  
す。原稿に添える手のひらも二分も置  
くと紙の上にベタツとくっついてしま  
います。洗濯物もしつとりとしたもの  
を着ることを余儀なくされています。  
でも、この雨と湿気が名産のももや梨

の実が大きくなるのになくはならな  
いもので、北海道の皆さまが長い冬か  
ら春を待つように、七月二十三日相馬  
野馬追い初日の平年並みの梅雨明けま  
で、じつと耐えるしかありません。人  
に会えば、半ばあきらめ顔で「よく降る  
雨だない」「うむれんない」と挨拶しな  
がらその日のくるのを待っています。  
そして、この便りを読んでいただく  
八月には、朝、昼、晩、真夜中をい  
わず、一日中気温二十度以上、湿度九  
十パーセントの日々を迎えていること  
になります。日本国内で、暑い盆地は、  
京都、米沢、福島と言われていますが、  
福島に転勤になり初めての夏を迎える  
人にとっては、冬の寒さが早く来ない  
かと心待ちするぐらいすさまじく感じ  
られるようです。梅雨と同じように、  
この真夏の太陽と暑さが、ももの味を  
最高のものにし、日本一のきゅうり、  
トマトなどの野菜を全国に送り届け、  
秋の味覚の梨、りんごの品質を上げる  
など、やはり福島にはなくてはならな  
い季節の一節で、一人一人が肌に染み  
ついて当たり前のことと思っております。  
ちよつとくどい加減でしたが、我が古  
里福島は確かにそうだったかと思ひ出  
していただければ幸いです。  
さて、この便りをなぜ書かなければ  
ならないかという理由であります。私事  
となりますが、福島県職員として三十  
七年間の勤務中、平成元・二年の二カ

年ではありますが、福島県北海道事務所に勤務し、札幌市在住中道内の連合会会員皆様とお付き合いさせていただいたことによりです。北海道事務所勤務は、三年間と相場があるようですが、来年は仕上げの仕事をし、道内をしっかりと印象つけるよう歩こうと思つていた矢先に、二年間で福島に異動した二人の内の一人であります。しかし、この業務経験を種々のことに生かさせていただきました。

札幌からの異動は、会津若松農政事務所、北海道とつながりの深い会津地方に三年間勤務いたしました。在道中、初年度は連合会総会に佐藤知事が御夫妻で出席されるということで、泉谷さんと稚内行きを繰り返しました。彼の持論で「目的地からの帰路は、同じ道は通らないこと」ということで、二百十二市町村をできるだけ国道、道道に沿って通過してもらいました。会津藩の北方警備のこと、福島県からの入植状況などを頭が新鮮なうちに知識を吸収することができました。これを、会津での農業委員会研修、自営農業者の集い、また、農協理事研修などで北海道との深いつながりを本論そっちのけくらいにして話をし、会津の「三泣き」の想いに受け容れられる基盤が出来、大変有意義に仕事をこなせ、生活をさせていたいただきました。

平成二年のはまなす国体には、開会

式・閉会式に連合会として参加させていただき、佐藤知事、大内教育長と共に県勢の試合を応援いたしました。平成十年のしゃくなげ国体では、飾花班長として会場周辺の環境維持に前の経験が十分生かさせてもらい、役目を果たすことが出来ました。その上、開会式には連合会の皆さんが大勢出席され、晴れやかな会場でお会いすることが出来たことを今も新鮮な記憶として残っています。

そして、退職前の二年間は、相双農林事務所勤務いたしました。相馬地方は、藩の建て直しを「宮尊徳「仕法」」により実施されたところであり、一宮尊信が活躍した豊頃町と相馬市の提携北海道にある相馬神社の由来など現地で見聞したことなど、一連の共通点を持つていたことは力強く、仕事の上でも北海道様々でした。

その上、退職後の平成十三年には、うつくしま未来博が須賀川市で九十日間に行われ開催されましたが、北海道食の博覧会について在道中聞き及んだ轍を踏むことのないように十回入場し、その間に母県訪問の連合会二行様を会場でお迎えすることができました。またまた、当時の情報が役立ったとつくづく思っております。

北海道事務所勤務者OB会開催時、有志での酒席などで必ず在道中の話に花を咲かせています。各人それぞれに

いかに印象深かったか今もつて伺われます。皆さまのご厚情に改めて感謝感謝であります。

今年も四季が暦どおりに過ぎていくことになりませんが、これからも、ももがメロンやアスパラガスに、柿が塩鮭に、地酒が蟹になって返ってくるようなお付き合いを続けていきたいと思っております。

次回の母県訪問でお会いできるのを楽しみにしております。福島県人会北海道連合会会員皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。筆を擱かせていただきます。



### 平成13年度第二回役員会

日時 平成14年1月31日

場所 京王プラザ(札幌市)

### 平成14年度第一回役員会

日時 平成14年5月18日

場所 ホテルノースランド帯広

### 第三十回連合会総会

日時 平成14年5月18日

場所 ホテルノースランド帯広



### うつくしまねりんピック2002

平成14年10月19日(土)〜22日(火)

全国の高齢者の方々を主役とした、ス

ポーツや文化の祭典「うつくしまねりんピック2002」を県内24市町村を会場に開催します。

お子さんから高齢者まで楽しめるイベントも数多く開催されることになっており、多くの方々に参加していただけるよう準備を進めております。

例えば、福島の魅力を発信する「ふくしまフェア」を始め、廃材利用の作品やおもちゃをつくる「親子ふれあいフェスタ」、20・21日の「ねりんピックキビタン号」運行、敬宮愛子内親王殿下御誕生記念「こどもフェスティバル」のほか、音楽文化祭や美術展など盛りだくさんの内容となっております。

ふるさと福島の秋を満喫しながら、「うつくしまねりんピック2002」に参加してみませんか。

詳しくは、実行委員会事務局までお問い合わせください。

電話 024(521)7306

<http://www.pref.fukushima.jp/nenrin>

### 編集後記

今年の総会は残念ながら知事が日帰りでしたが、多数の方々にご出席いただき、誠にありがとうございました。また、帯広の皆さま、大変お世話になりました。今年の夏夏日は二日間！短い夏が一層短く寂しく終わりました。夏の暑さの不足分は、秋の「うつくしまねりんピック」の熱い声援に変え、取り戻したいものです。(河野)

紙面の都合で、新入職員の自己紹介は、次号に掲載させていただきますので、悪しからず御了承願います。(編集担当者)